

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	9	30	金	9:00	16:00	JA 花園直売所・太田ヶ谷の森	6
活動名称	JA 花園直売所苗木買い出しと太田ヶ谷の森への仮移植					報告者：小沼	

<活動目的>

太田ヶ谷の森や市民の森へ植樹するため、JA 花園農産物直売所に出向き苗木を購入し、太田ヶ谷の森内に仮植えた。

<主な活動内容>

- 9時に市役所駐車場に集合し、乗用車2台と市役所のトラック(1トン車)計3台で出発
- JA 花園農産物直売所で以下の樹木を購入した。
 - ・ シラカシ 10本 ・ キイチゴ 3本 ・ ポポ 3本 ・ キンモクセイ 5本
 - ・ ヤマモモ 2本 ・ アジサイ 6本 ・ ヤマツツジ 4本 ・ メグスリの木 1本
 - ・ クリ 5本 ・ カキ 2本 ・ ヒサカキ 5本 ・ コウヤマキ 1本
 - ・ アカマツ 1本 ・ ミツバツツジ 5本 合計 53本 約10万円
- 小嶋さん運転のフォークリフトが活躍した。
- JA で販売している本数が少なく、また、トラックに載せられる本数も限度があることから、上記53本を購入し、残りは予約注文(キイチゴ・ヤマモモ・グミ・アジサイ)し、年内を目途に別途2回目の買い出しをすることとした。
- 昼食後、鶴ヶ島に戻った。当初、太田ヶ谷の森のサッカー場トイレ北側の苗床に仮植えようとしたが、本数が多く苗床の面積では狭いのでサッカー場北面の空き地に仮植えすることとした。
- 内野育雄さんのトラクター、内野嘉広さんの水槽を使用し、3本の苗床用溝を掘り、仮植えと水やりを実施。
- 仮植えた樹木の今後の取り扱いについて
 - ・ 仮植えたものの移植は各団体の太田ヶ谷の森での作業日に合わせ、移植場所も含め、各団体の判断で実施してもらう。
 - ・ フラワーフレンズ：アジサイ 源流の会：ヒサカキ・コウヤマキ・アカマツ 里山：他
 - ・ 水やりは各団体の活動日に実施する。(内野嘉広さんの水槽を源流の会の倉庫横に設置するので活用)

<課題・評価>

苗の購入、仮植え作業は初めての経験であったが、各団体の協力の元、実行することができた。市役所のトラック1トン車では運搬に限度があったので次回では2トントラックが必要である。

<里山参加会員>

小澤邦、吉井、橋本、小嶋、小沼、(松本忠) (5人)

源流の会：3人 自然を守る会：1人 フラワーフレンズ：2人 市役所都市計：1人

計12人

<活動写真>

